

2024 年度 研究、教育、社会・学会活動報告書

1. 研 究（本年度のみ）

ふりがな	かとう やすし				
教員氏名	加藤 康	職 位	教授	学 位	修士（商学）
アルファベット表記	Yasushi Kato				
専門分野		産業論・企業論			
研究課題	テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能			
	概要	サプライチェーン、ロジスティクスに組み込まれた倉庫の意義、機能に関する実証的研究			
本年度 研究業績	研究テーマ	サプライチェーンにおける倉庫の機能			
	経過と到達点	今年度は、サプライチェーンに関する文献収集、自身の研究整理等を中心にして、今後の展開に向けての準備を行なった。			

（1）学術論文

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
①英文査読論文					
②和文査読論文					
③英文論文					
④和文論文					
⑤紀要論文					
⑥紀要研究ノート等					
7 学会での 口頭発表、討 論者（ディス カッサント	ロジスティクスの 動向	2025 年 3 月 5 日 (予定)	単	京都経済短期大学 経営情報学会	ロジスティクスの最近の動向 について検討を試みる。

(2) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
⑧共著書・ 共訳書				
⑨単著書・ 単訳書				

(3) 外部研究資金獲得(競争的資金獲得)

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑩共同研究 (研究代表)				
⑪単独研究				
⑫共同研究 (分担研究)				
⑬科学研究 助成事業(日 本学術振興 会)申請				

2. 教 育 (本年度のみ)

担当科目		前 期	後 期
		科目名	科目名
	講義	経営学総論、中小企業論、	企業論、流通論、経営英書購読Ⅰ
	演習	基礎ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、経営 講読Ⅱ	ゼミナールⅢ
	実習		

教育内容・方法 の工夫	◆ 講義科目 1 回生前期配当「経営学総論」では、経営学の基礎知識を解説すると共に企業の実際に触れることを意識した。「企業論」では、これまで同様、経営分野における多様な事象に関心を持たせること、経営分野の基礎的理解とともに、サプライチェーンに関連する論理と多様な実際のありようを紹介することに重点をおいた。今年度は留学生をはじめ多様な受講生を意識して、昨年度より製品アーキテクチャ論等これまで同科目の含めていたトピックを省略することによって内容を限定し、できるだけ丁寧に講義することを心がけた。本科目と「中小企業論」「流通論」では、前年度同様 CEAS のアンケート機能を用いて毎回受講生にコメントの提出を求め、次の講義でコメント紹介を含めたフィードバックを行った。特に流通論では受講生が例年より少人数となったこともあり、自身の日常的な購買経験等を画像付きで交える等、いっそう学生が身近に感じられる話題を中心にして展開した。2 回生前期配当「経営購読 2」においては毎回テーマを提示し、経営学分野の基礎的なトピックに関する小論文作成の個別指導を行った。1 回生後期配当「経営英書購読 1」では 15 名程度の受講生と共に、コトラー、ポーター、アベグレン各氏による著名な文献を適時文法の確認等を交えながら購読した。
	◆ 演習科目 2023 年度生は、前年度に引き続きゼミ合宿（滋賀県高島市マキノ町）を行うことができた。さらに、今年度も 5 つのグループに分かれて企業へのヒアリング調査を行った。それぞれ前年度 2 月からの調査先をみると、A 班：tutus flowers (2/7)、7/26 京都生花株式会社 (7/26)、B 班：2/19 (株) イノブun (2/19)、phooka(8/6)、C 班：小川珈琲株式会社(3/19)、前田珈琲(8/2)、D 班：3/28 (株) 井筒八ッ橋本舗、本家八ッ橋西尾株式会社(8/22)、E：(株) マツモト(3/29)、株式会社カノー(9/11)と多岐に渡る。今年度もこうした調査をふまえて卒業研究（共通テーマ：サプライチェーンを考える）に取り組み、ゼミナール研究発表会前日にゼミ内研究発表会（YouTube で限定公開）を行った。そこでは実務会で活躍する卒業生もコメンテーターとして参加した。ゼミ内 5 班の成果を今年度もゼミ論集として製本する。
	実習科目
	◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）

(1) 課外活動

①研修旅行 海外	
②研修旅行 国内	ゼミ合宿（於滋賀県高島市マキノ町：2024 年 9 月 19 日～9 月 20 日）

3. 社会・学会活動（本年度のみ）

（1）公的委員会

分 類	活動・講演の概要
①委員長・座長 国・国際機関	
②委員長・座長 上記以外	
③委員・アドバイザー 国・国際機関	
④委員・アドバイザー 上記以外	

（2）学術団体の理事（日本学術会議協力学術研究団体）

分 類	活動・講演の概要
⑤理事長・会長	
⑥理事	

（3）講演会

分 類	活動・講演の概要
⑦講演者・登壇者	

4. 特記事項（本年度のみ）

--